

心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- ☐ P-QRS-Tの順番通り
- ☐ I誘導, II誘導のP波は上向き
- ☐ RR間隔が3～5マス以内

2. P波の評価

- ☐ II誘導で高さが2.5mm以上ない
- ☐ II誘導で幅が3mm以上ない
- ☐ V1誘導で高さが2mm以上ない
- ☐ V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- ☐ PQ間隔が3～5マス以内

4. 異常Q波の確認

- ☐ 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- ☐ 形に異常がない
- ☐ 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- ☐ STの上昇(J点が1mm以上)がない
- ☐ STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- ☐ T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- ☐ T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

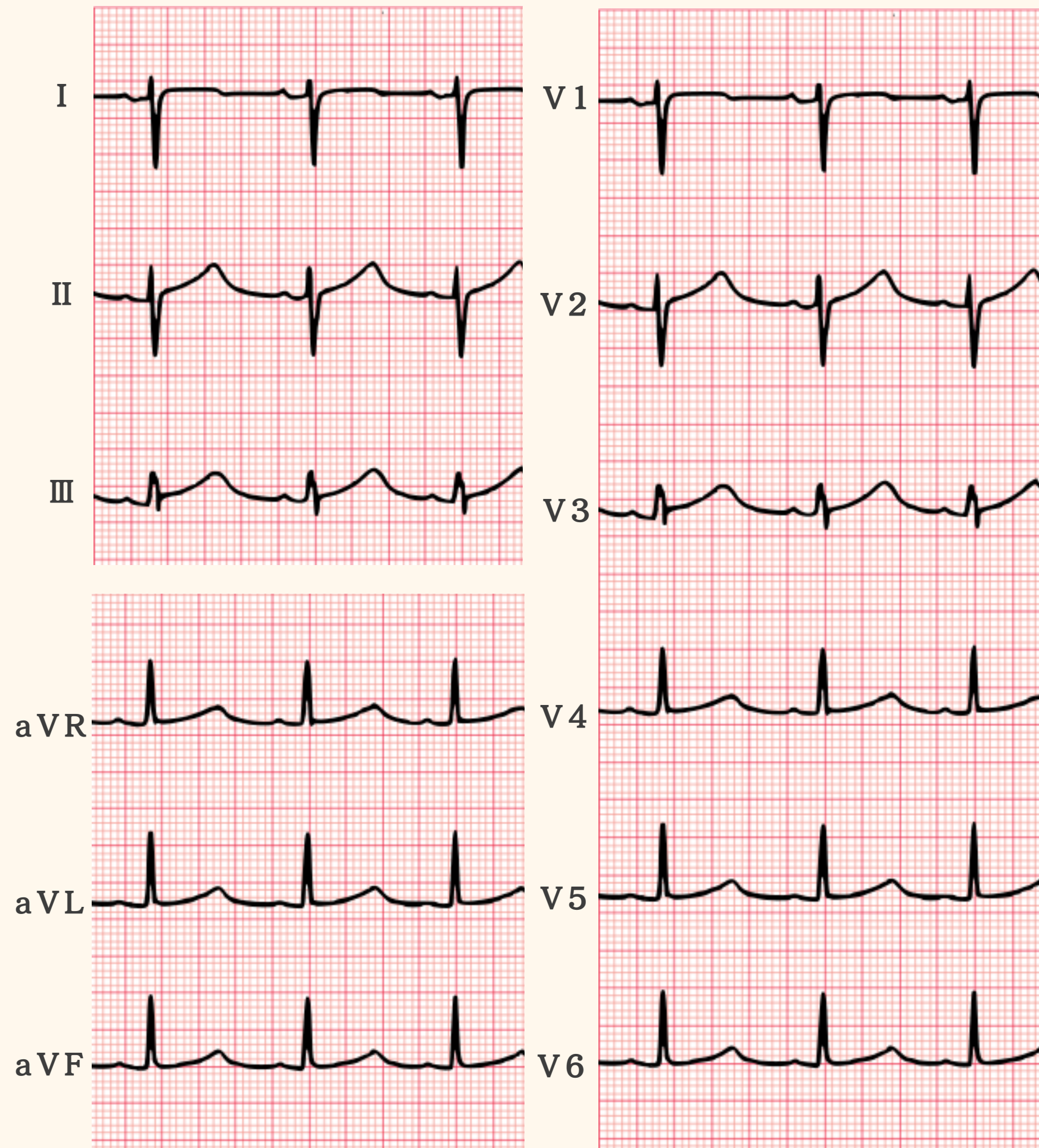
8. 軸の判定

- ☐ I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- ☐ R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3～V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- ☐ P-QRS-Tの順番通り
- ☐ I誘導, II誘導のP波は上向き
- ☐ RR間隔が3～5マス以内

2. P波の評価

- ☐ II誘導で高さが2.5mm以上ない
- ☐ II誘導で幅が3mm以上ない
- ☐ V1誘導で高さが2mm以上ない
- ☐ V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- ☐ PQ間隔が3～5マス以内

4. 異常Q波の確認

- ☐ 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- ☐ 形に異常がない
- ☐ 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- ☐ STの上昇(J点が1mm以上)がない
- ☐ STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- ☐ T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- ☐ T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

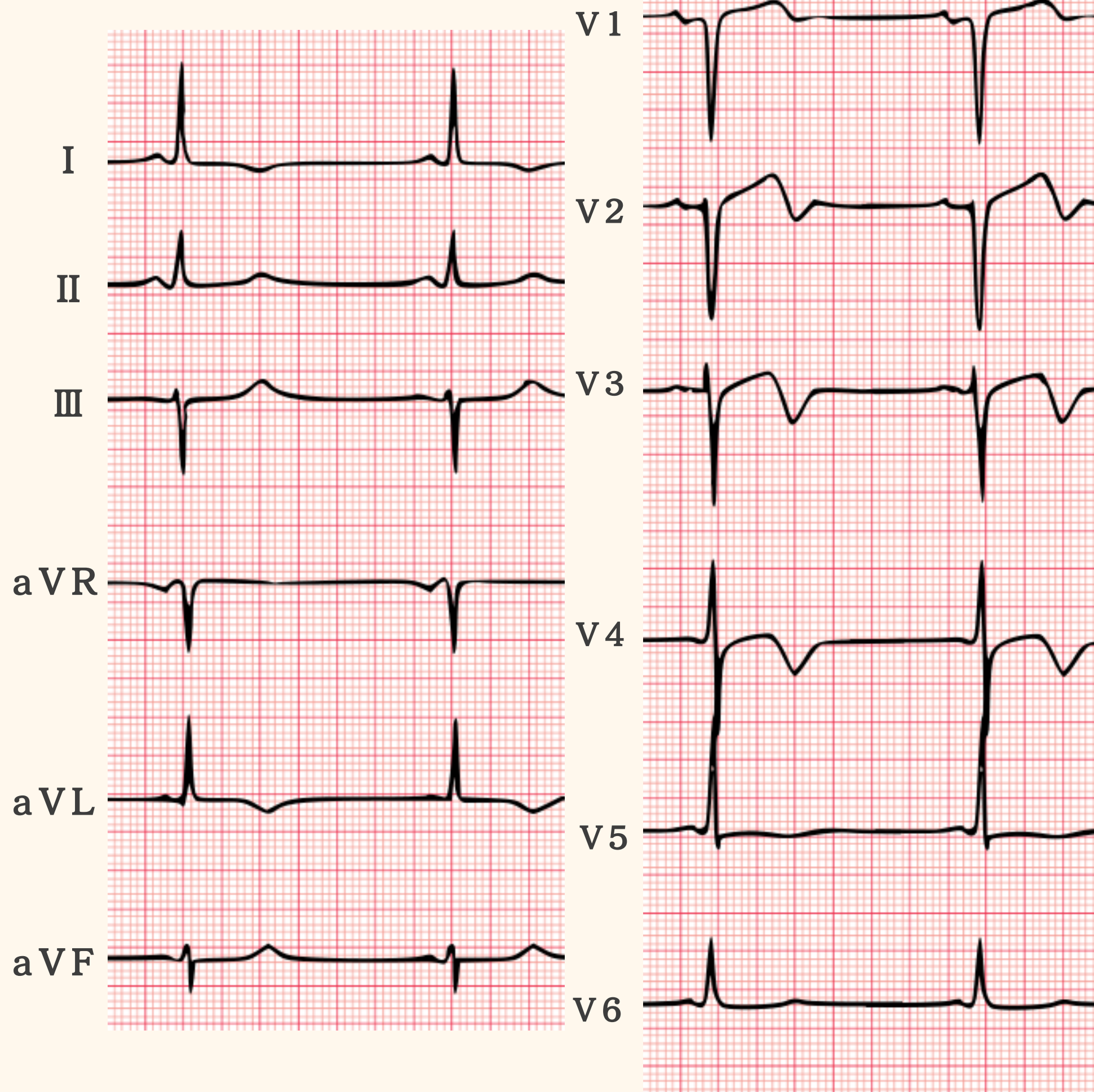
8. 軸の判定

- ☐ I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- ☐ R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3～V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- ☐ P-QRS-Tの順番通り
- ☐ I誘導, II誘導のP波は上向き
- ☐ RR間隔が3～5マス以内

2. P波の評価

- ☐ II誘導で高さが2.5mm以上ない
- ☐ II誘導で幅が3mm以上ない
- ☐ V1誘導で高さが2mm以上ない
- ☐ V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- ☐ PQ間隔が3～5マス以内

4. 異常Q波の確認

- ☐ 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- ☐ 形に異常がない
- ☐ 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- ☐ STの上昇(J点が1mm以上)がない
- ☐ STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- ☐ T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- ☐ T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

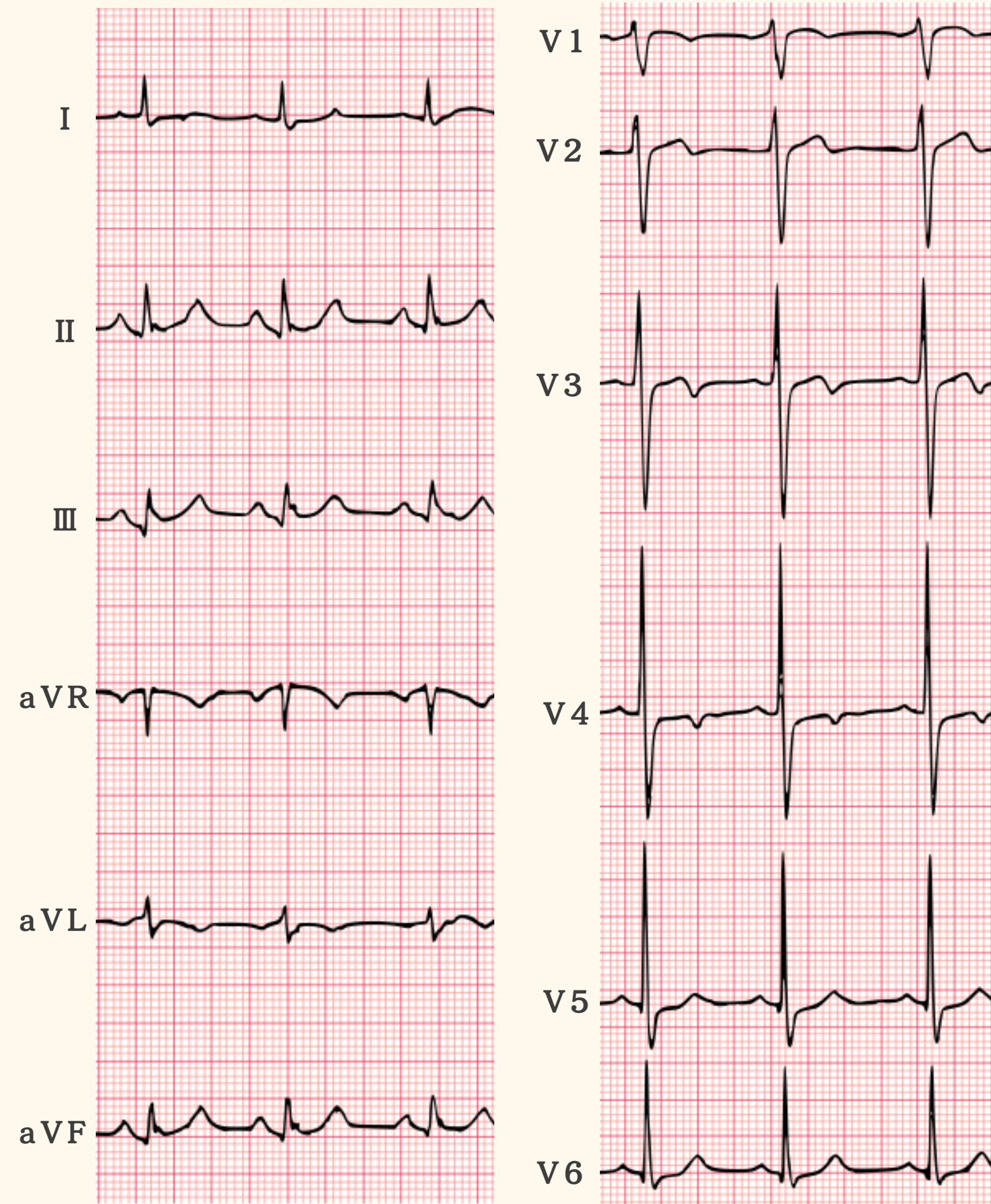
8. 軸の判定

- ☐ I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- ☐ R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3～V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- ☐ P-QRS-Tの順番通り
- ☐ I誘導, II誘導のP波は上向き
- ☐ RR間隔が3～5マス以内

2. P波の評価

- ☐ II誘導で高さが2.5mm以上ない
- ☐ II誘導で幅が3mm以上ない
- ☐ V1誘導で高さが2mm以上ない
- ☐ V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- ☐ PQ間隔が3～5マス以内

4. 異常Q波の確認

- ☐ 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- ☐ 形に異常がない
- ☐ 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- ☐ STの上昇(J点が1mm以上)がない
- ☐ STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- ☐ T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- ☐ T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

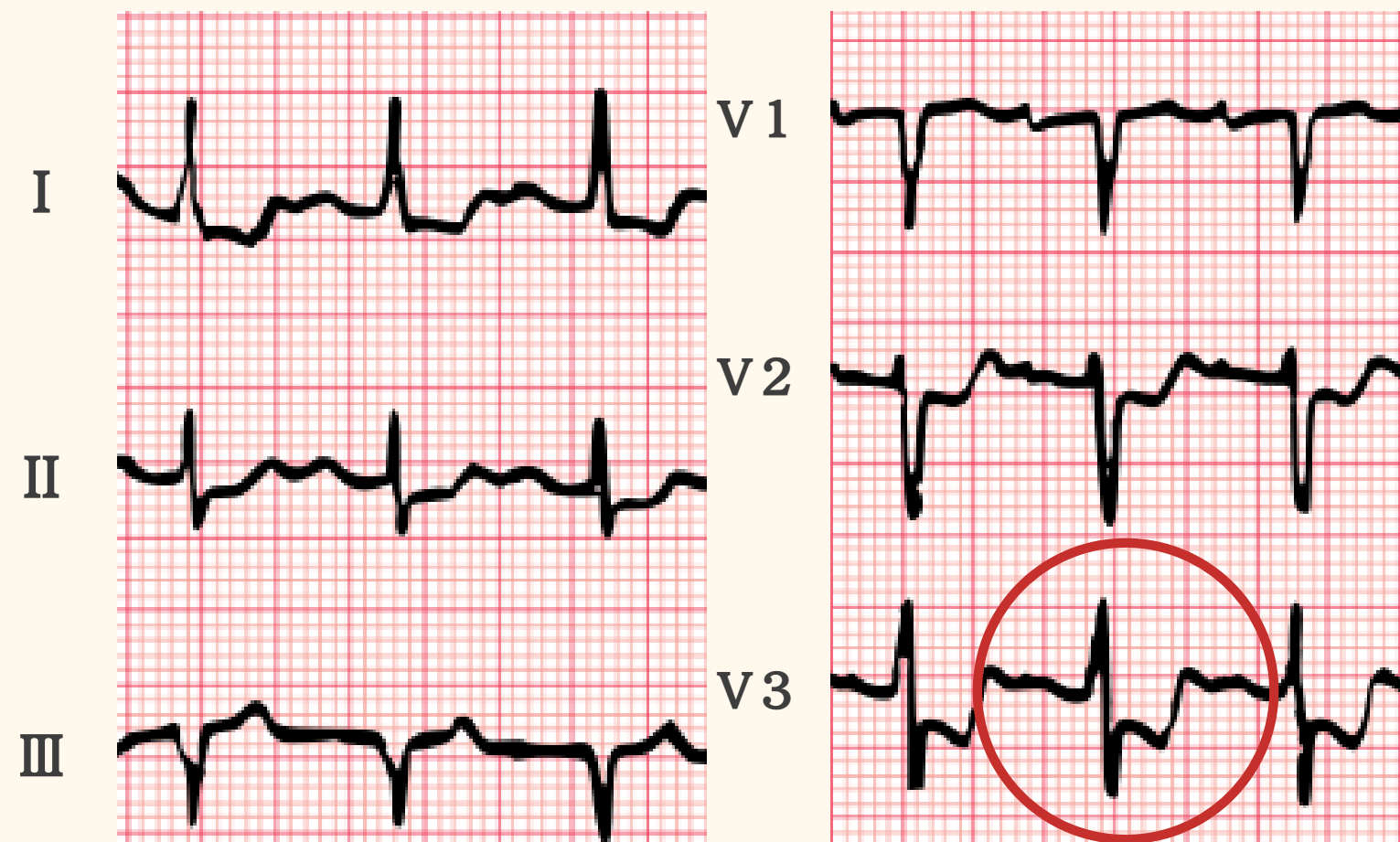
8. 軸の判定

- ☐ I誘導、aVF誘導がともに上向き

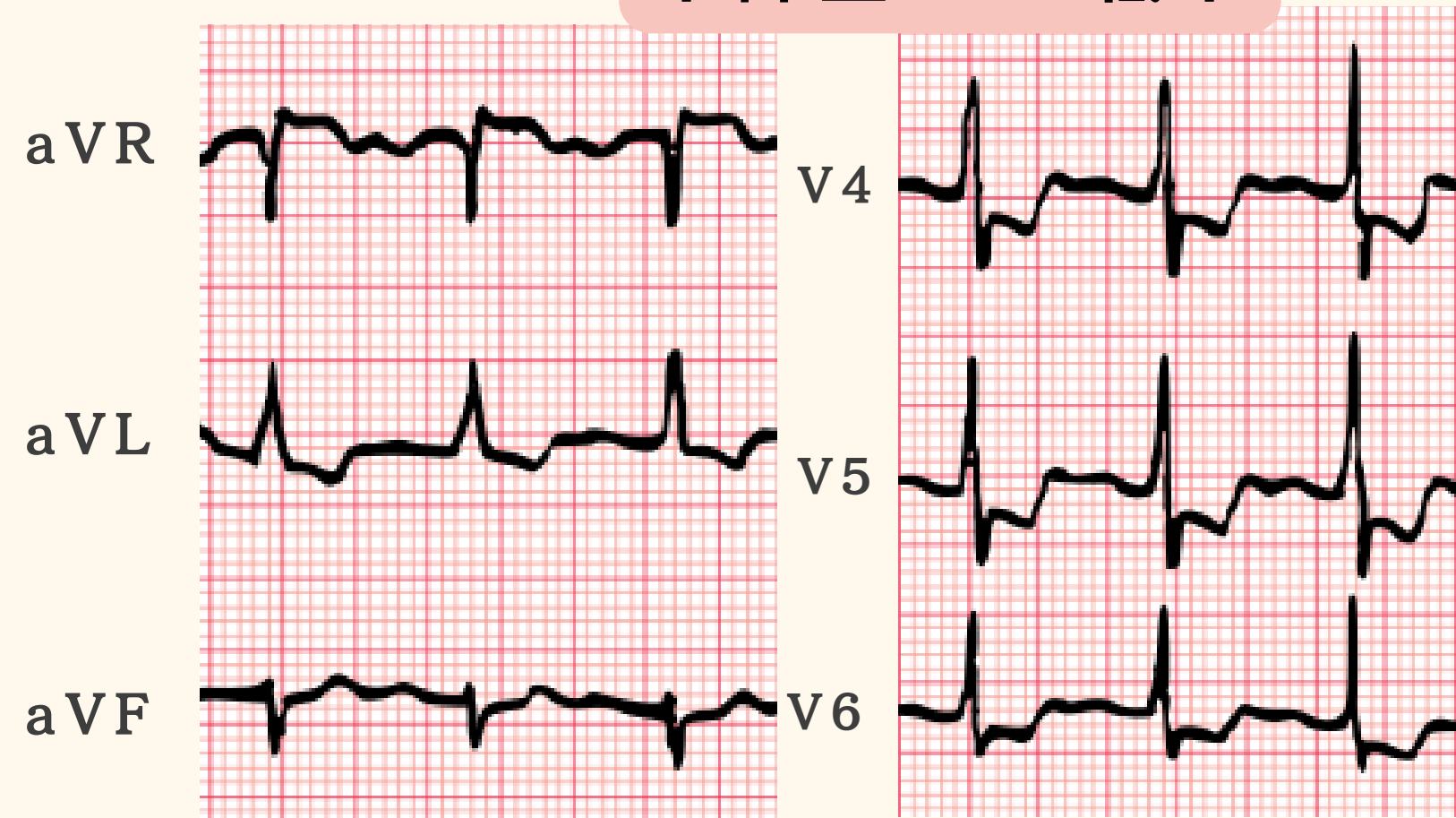
9. 移行帯の判定

- ☐ R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3～V4誘導である

60歳男性。最近、階段昇降時に胸部圧迫感を自覚ようになったため、
外来でトレッドミル負荷心電図検査を施行した。



下降型のST低下



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- ☐ P-QRS-Tの順番通り
- ☐ I誘導, II誘導のP波は上向き
- ☐ RR間隔が3～5マス以内

2. P波の評価

- ☐ II誘導で高さが2.5mm以上ない
- ☐ II誘導で幅が3mm以上ない
- ☐ V1誘導で高さが2mm以上ない
- ☐ V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- ☐ PQ間隔が3～5マス以内

4. 異常Q波の確認

- ☐ 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- ☐ 形に異常がない
- ☐ 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- ☐ STの上昇(J点が1mm以上)がない
- ☐ STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- ☐ T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- ☐ T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

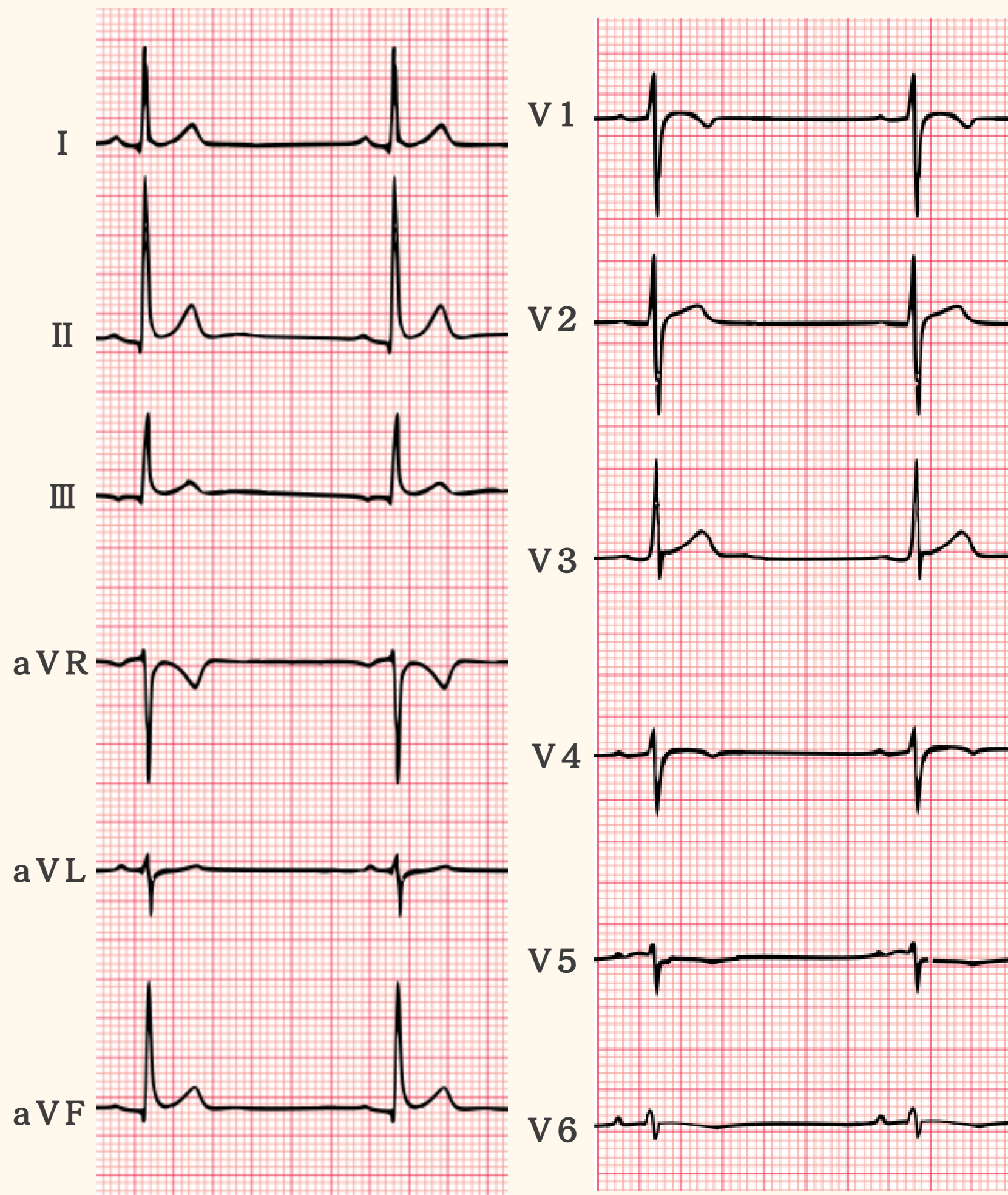
8. 軸の判定

- ☐ I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- ☐ R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3～V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう



心電図チェックシート

1. リズムと心拍数の確認

- ☐ P-QRS-Tの順番通り
- ☐ I誘導, II誘導のP波は上向き
- ☐ RR間隔が3～5マス以内

2. P波の評価

- ☐ II誘導で高さが2.5mm以上ない
- ☐ II誘導で幅が3mm以上ない
- ☐ V1誘導で高さが2mm以上ない
- ☐ V1誘導のP波の陰性部分が
横幅と深さを掛けて1以上ない

3. PQ間隔の確認

- ☐ PQ間隔が3～5マス以内

4. 異常Q波の確認

- ☐ 幅1mm以上
深さがR波の高さの1/4以上ない

5. QRS波の評価

- ☐ 形に異常がない
- ☐ 幅が3マス以上ない

6. ST-Tの確認

- ☐ STの上昇(J点が1mm以上)がない
- ☐ STの低下(J点が0.5mm以上)がない
- ☐ T波が肢誘導で5mm
胸部誘導10mmで未満の陽性波

7. QT間隔の評価

- ☐ T波の終わりが、RR間隔中央
の基準線を超えていない

8. 軸の判定

- ☐ I誘導、aVF誘導がともに上向き

9. 移行帯の判定

- ☐ R波の高さとS波の深さが逆転した
ところが、V3～V4誘導である

この所見から考えられる病態を挙げてみましょう

